

不適合情報

2022年4月22日(金)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。

なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. GⅠグレード 0件

2. GⅡグレード 0件

3. GⅢグレード 4件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	6号機	原子炉区域・タービン区域送風機の吸込ダクト部に、腐食および貫通孔を確認した。貫通孔を養生テープで仮補修済み。当該ダクトを交換。	2022/04/18	
2	6号機	原子炉建屋管理区域の南東階段室(1箇所)に、誘導灯の不点灯を確認した。調査の結果、誘導灯点検用ひもが引かれてバッテリーで点灯する状態となっており、バッテリーの容量が尽きたことが原因と判明。点検用ひもを正常位置に戻し復旧済み。	2022/04/20	
3	7号機	中央制御室において、計算機システム機器軽故障の警報の発生を確認した。調査の結果、光伝送インターフェース基板内のメモリに偶発的な異常が発生し、マルチロードブロックモニタ伝送回線(1系)に異常が発生したものと推定。当該基板を初期化し復旧済み。異常の発生したメモリについて、ロット不良等の情報の有無を調査。なお、2系に異常はなく伝送に問題なし。	2022/04/18	
4	7号機	原子炉建屋大物搬入建屋(管理区域)で作業に従事していた協力企業作業員の γ ・ β 線用警報付ポケット線量計が鳴動したことを確認した。直ちに退域し線量計を確認したところ、 γ 線0.01mSvが記録されていることを確認した。同一作業をしていた他の作業員の線量計には記録はなく、また、作業場所の線量当量率は0.001mSv/h未満であることから線量計の誤計測と判断。当該線量計の使用を禁止し、作業員の線量評価を実施。	2022/04/19	